

平成 29 年度 教職員救急講習会

6月29日（金）の放課後、森之宮医療学園専門学校より3名の講師の先生をお招きして、教職員対象の救急講習会を行いました。

初めに、これからの時期最も注意しなければならない熱中症について学びました。

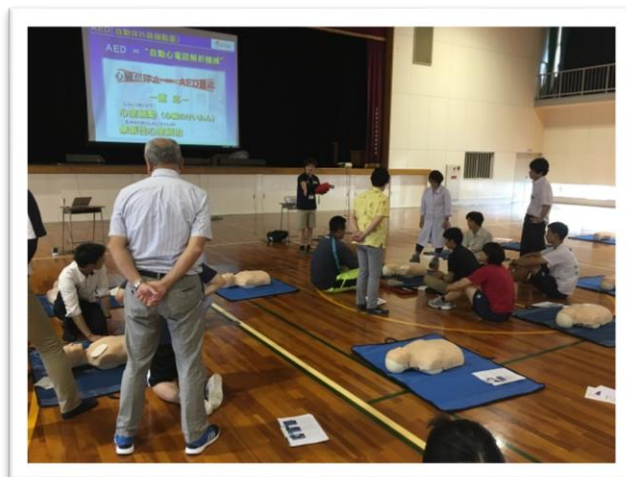


次に、心配蘇生法について学びました。中でも一番大切な胸骨圧迫について、守口・門真消防署から練習用人形をお借りし、練習しました。



胸骨圧迫は30回を1セットとしますが、2人1組で何セットかする内にどんどん疲れてきます。質の高い胸骨圧迫を続けるのは難しいことなのだ実感しました。

最後にいくつかのグループに分かれて、AEDのデモ機械を使った練習をしました。



研修の最後には、AEDを使用する際、もし身体が汗や水で濡れていたらどうするのか？ペースメーカーをつけている人の場合は？など、色々な想定についてお話をいただきました。

万が一のときに迅速に対応できるよう、日ごろからの訓練がとても大切であると感じた講習会でした。